

Prevalence of atopic dermatitis in Japanese adults.

出典 Br J Dermatol 2003 Jan; 148(1): 117-121.
(<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/12534604>)

著者 Muto T 他

調査地域 東京

調査時期 1997~1998 年

調査対象 30 歳以上

依頼数 12193 人

回収数 (率) 10826 人 (88.8%)

有効回答数 (率) 10762 人 (88.2%)

診断方法 UK ワーキンググループに基づく日本語質問表

有症率	<時点有病率>	<過去1年の有病率>	<生涯有病率>
30代:	3.5%	3.8%	4.3%
40代:	3.1%	3.2%	3.3%
50代:	2.6%	2.9%	3.1%
60以上:	2.6%	2.7%	2.9%
男女別有症率	男性 <時点有病率>	<過去1年の有病率>	<生涯有病率>
30代:	3.6%	3.8%	4.2%
40代:	2.9%	3.0%	3.2%
50代:	2.4%	2.6%	2.8%
60以上:	3.0%	3.0%	3.0%
	女性 <時点有病率>	<過去1年の有病率>	<生涯有病率>
30代:	3.1%	3.5%	4.4%
40代:	3.9%	4.0%	4.0%
50代:	3.2%	3.4%	3.9%
60以上:	1.9%	2.2%	2.9%

調査概要 虎の門病院で健診を行った成人を対象に実施した。日本で初めて成人 AD の有症率を the U.K. Working Party の診断基準を用いて報告した論文。都心に住む成人 AD の年間有病率は 3.0% であり、性別・年齢別での統計学的有意差は認めなかった。